

令和5年度

事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

社会福祉法人 紀の川市社会福祉協議会

令和5年度 紀の川市社会福祉協議会事業報告

「ともにささえあい、みんなでつくる福祉のまち」
～希望にあふれ、誰もが安心して暮らせる紀の川市～
の実現を目指して（『第3次地域福祉活動計画』基本理念）

I 法人運営部門

会務の円滑な運営を図るとともに、関係団体との連携を深め活動基盤の強化に努めた。
また、地域福祉活動の貴重な財源となる社協会費の増強に努めた。

1. 理事会の開催

- 第1回 期日 令和5年6月8日（木）
場所 紀の川市役所本庁 2階 市民協働スペース
出席 理事13名 監事2名
内容 ①補欠評議員選任・解任委員の選任について
②補欠評議員候補者の推薦
③評議員選任・解任委員会の招集について
④令和4年度事業報告
⑤令和4年度決算
⑥令和5年度定時評議員会の招集
⑦会長の業務報告
- 第2回 期日 令和5年6月29日（木）
場所 紀の川市打田生涯学習センター 学習室2・3
出席 理事14名 監事2名
内容 ①会長の選任について
②副会長の選任について
③補欠評議員選任・解任委員の選任について
- 第3回 期日 令和6年3月7日（木）
場所 桃山保健福祉センター 2階 ピーチホール
出席 理事12名 監事1名
内容 ①令和5年度補正予算（第1号）
②令和6年度事業計画
③令和6年度予算
④役員等賠償責任保険契約の締結
⑤利益相反取引及び双方代理となる事項の承認
⑥令和5年度第2回評議員会の招集
⑦会長の業務報告

2. 評議員会の開催

定 時 期日 令和5年6月29日(木)
場所 打田生涯学習センター 学習室2・3
出席 評議員15名
内容 ①令和4年度事業報告
②令和4年度決算
③理事の選任
④監事の選任

第2回 期日 令和6年3月22日(金)
場所 桃山保健福祉センター 2階 ピーチホール
出席 評議員17名
内容 ①令和5年度補正予算(第1号)
②令和6年度事業計画
③令和6年度予算

3. 評議員選任・解任委員会の開催

第1回 期日 令和5年6月15日(木)
場所 桃山保健福祉センター 1階 相談室
出席 評議員選任・解任委員5名
内容 ①補欠評議員の選任

4. 監事会の開催

期日 令和5年5月25日(木)
場所 桃山保健福祉センター 1階 相談室
出席 監事2名
内容 ①令和4年度事業報告
②令和4年度決算

5. 地域福祉推進委員会の開催

(1) 打田支所

期日 令和5年5月12日(金)
場所 紀の川市役所南別館 3階 応接室
内容 ①紀の川市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
②第3次紀の川市社会福祉協議会地域福祉活動計画について
③その他

期日 令和6年2月16日(金)
場所 紀の川市役所南別館 3階 応接室
内容 ①生活支援サポート事業について
②令和5年度台風2号災害関係団体との振り返りについて(報告)
③その他

(2) 粉河支所

期日 令和5年5月16日(火)
場所 社協粉河支所 1階 会議室
内容 ①紀の川市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
②紀の川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
③第3次紀の川市社会福祉協議会地域福祉活動計画について

期日 令和5年12月8日(金)
場所 社協粉河支所 1階 会議室
内容 ①生活支援サポート事業
②寄付付き商品事業
③紀の川市社会福祉協議会粉河支所について

(3) 那賀支所

期日 令和5年5月8日(月)
場所 那賀保健福祉センター 2階 多目的ホール
内容 ①紀の川市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
②紀の川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について(追加)

期日 令和6年2月28日(水)
場所 那賀保健福祉センター 2階 多目的ホール
内容 ①那賀支所地域福祉推進委員会構成について

(4) 貴志川支所

期日 令和5年5月12日(金)
場所 貴志川保健福祉センター 2階 研修室
内容 ①紀の川市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
②第3次紀の川市社会福祉協議会「地域福祉活動計画」について

期日 令和5年7月14日(金)
場所 貴志川保健福祉センター 2階 研修室
内容 ①第3次地域福祉活動計画にかかる貴志川地区の重点課題と方向性について

期日 令和5年9月29日(金)
場所 貴志川保健福祉センター 2階 研修室
内容 ①「地域診断・課題出し」をテーマに意見交換(フリー)
②生活支援サポート事業について

期日 令和5年12月8日(金)
場所 貴志川保健福祉センター 2階 研修室
内容 ①「地域ボランティア人材確保と育成」をテーマに意見交換(フリー)

期日 令和6年3月4日(月)
場所 貴志川保健福祉センター 3階 いきいきルーム
内容 ①紀の川市包括支援センターとの意見交換会
②貴志川支所地域福祉推進委員長・副委員長の選任について

6. 会員及び会費

◇社協会員の募集と会費の徴収

自治区役員や福祉委員に協力をいただき、社協への理解と会費協力依頼を行った。
また、企業や商店を訪問し、更なる会員増強に努めた。(単位：円)

		一般会費	賛助会費	団体会費	特別会費	合計
本年度	口数	1,855	11	1	135	2,002
	金額	6,076,280	22,000	10,000	770,000	6,878,280
前年度	金額	6,145,950	18,500	10,000	725,000	6,899,450

◇寄附金 (単位：円)

	件数	金額	備考
本年度	34	1,453,530	内高額寄附金1件
前年度	49	763,567	

※高額寄附金は100万円以上

◇寄附つき商品事業 (単位：円)

各事業者が提供する商品・サービスの売上げの一部を社協へ寄附されるものです。

「購入者(地域住民)」-「協力事業者」-「社協」3者による地域貢献の取り組みです。

	件数	金額
本年度	27	374,020
前年度	15	272,700

7. 事務局及び職員

(1) 事務局の組織

本所・支所		住所	職員数
本所	地域福祉課	紀の川市桃山町最上1253-2	18名
	在宅サービス課		12名
打田支所		紀の川市西大井338	3名
粉河支所		紀の川市粉河2513-1	3名
那賀支所		紀の川市名手市場144-1	3名
貴志川支所		紀の川市貴志川町神戸331	3名
計			42名

(2) 職員の状況

本所・支所	雇用形態	前年度	本年度中		本年度末現在 (R6.3.31)
			増	減	
地域福祉課	正職員	12名	1名	2名	11名
	嘱託職員	4名	4名	1名	7名
在宅福祉サービス課	正職員	5名	1名	1名	5名
	嘱託職員	7名	5名	5名	7名
支所	正職員	7名	3名	2名	8名
	嘱託職員	3名	2名	1名	4名
計	正職員	24名	5名	5名	24名
	嘱託職員	14名	11名	7名	18名

II 地域福祉活動部門

基本目標 1 地域で安心して暮らすための体制整備

地域住民の方々が、安心して日常生活が送れるようサービスの利用援助や地域での生活支援に向けた相談支援活動、情報提供、連絡調整を行った。

相談支援体制の充実強化

○総合相談事業

(1) 心配ごと相談事業

開設日数：50日 相談員数：35名 相談者数：36名

相談内容	生計	年金	生業・職業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	精神保健	法律・人権	財産	事故	母子保健 児童福祉	老人福祉	苦情	その他	合計
相談件数	6	4	1	5	7	0	1	4	0	0	1	5	1	0	0	3	5	43

(2) 専門相談事業

弁護士相談 開設日数：12日 相談者数：77名

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
相談件数	22	9	13	14	19	77

(3) 研修会の開催

○心配ごと相談員研修会

期 日 令和5年7月7日(金)

場 所 打田生涯学習センター

内 容 ①令和4年度相談実績報告 ②事例検討

③社会福祉協議会・権利擁護センター業務説明

福祉サービスの充実

1. 紀の川市介護予防事業(市受託)

介護予防拠点施設「蛍の里」において、いきいき高齢者を対象に健康の保持と生きがいを支えるサービスを行った。

	本年度	前年度	比較
延利用者数	992	1,100	△108

事業名	実施日	場所	延参加人数
手浴	全日	蛍の里	992
体操(DVD)	全日	蛍の里	992
筋力トレーニング	火曜日(42回)	蛍の里	126
脳力トレーニング	全日	蛍の里	992
グラウンドゴルフ	全日	蛍の里	約300
トランプ・オセロ	不定期	蛍の里	約600

輪投げ・ラダーボール	不定期	蛍の里	約100
畑作業	全日	蛍の里	約100
季節の物作り	年数回	蛍の里	約150
ウォーキング	不定期	蛍の里	約200
蛍の里自衛消防訓練・防火指導	1回	蛍の里	8

2. 用具貸出事業

延貸出件数 87 件

物品名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
車椅子	11	1	5	10	21	48
歩行器	0	0	1	0	0	1
特殊寝台及びマット	0	1	0	3	1	5
高齢者疑似体験セット	0	0	0	1	1	2
ラダーボール	4	1	0	6	2	13
モルック	1	1	0	4	0	6
輪投げ	4	7	0	1	0	12
合計	20	11	6	25	25	87

情報提供の充実

○広報啓発事業

- (1) 社協広報紙「福祉きのかわ」の発行（毎月1回発行 市内全戸へ配布）
- (2) 声の広報発行
内容 「福祉きのかわ」「広報紀の川」をCDに録音し、年間延べ102人の必要な方に貸し出した。
- (3) ホームページの運用 URL (<https://kinokawashishakyo.jp>)
- (4) インスタグラムの運用 URL (<https://www.instagram.com/kinokawashishakyo/>)

権利擁護体制の充実

○権利擁護センター「架け橋」

1. 生活困窮者自立支援事業（市受託）

生活困窮者に対して包括的かつ伴走型の支援を行い、自立の促進を図ることを目的に、就労の支援その他自立に関する問題について、生活困窮者からの相談を受け、市及びその他関係機関と連携し支援を行った。

・相談件数

①生活福祉資金に関すること	61 件	（実人数）
②住居確保給付金に関すること	3 件	
③その他（家計相談・生活保護制度等）	43 件	
合計	107 件	

2. 成年後見制度利用支援事業（市受託）

認知症や障がいなどで判断能力が十分でない方を対象とする成年後見制度等の利用促進を目的に、広報活動や相談受付を始め、必要な権利擁護支援へ繋ぐため司法・福祉の専門的な観点からの助言を受け関係機関と連携し必要な制度利用に向け包括的な支援を行った。

（1）広報及び啓発

活動内容	期日/場所	参加人数
市内各自治区向けに回覧用チラシを配布	令和5年4月 自治区	—
市内各区長・民生委員にパンフレットを配布	令和5年4月 5支所管内	—
広報「福祉きのかわ」掲載	令和5年6月・8月・10月・11月・令和6年2月	—
福祉委員会において制度説明	令和5年6月17日（土） 東貴志コミュニティーセンター	32
心配ごと相談員を対象に制度説明	令和5年7月7日（金） 打田生涯学習センター	29
広報「福祉わかやま」掲載 ～社協における権利擁護支援（特集）～	令和5年8月	—
成年後見制度利用支援事業勉強会	令和5年8月8日（火） 紀の川市役所本庁	7
地域ケア会議（打田地区）においてセンター説明・事例検討	令和5年9月13日（水） 紀の川市役所	24
地域ケア会議（粉河・那賀地区）においてセンター説明・事例検討	令和5年9月14日（木） 紀の川市役所	26
地域ケア会議（桃山・貴志川地区）においてセンター説明・事例検討	令和5年9月21日（木） 桃山保健福祉センター	37
貴志川地区民生委員児童委員協議会定例会において制度説明	令和5年9月21日（木） 貴志川保健福祉センター	38
岸宮ふれあい見守り隊合同会議において制度説明	令和5年9月27日（水） 岸宮公民館	20
広報「きのかわ」掲載 ～成年後見制度（特集）～	令和5年11月	—
紀の川市老人福祉大会において制度説明	令和5年12月13日（水） 桃山保健福祉センター	45
身体障害者相談員・知的障害者相談員研修会において制度説明	令和6年2月19日（月） 紀の川市役所	10
和歌山県社会福祉士会権利擁護センター ぱあとなあ和歌山 紀北・紀南合同勉強会において周知	令和6年3月6日（木） オンライン	40
ふれあいいいききサロン（上野にこにこ会）において周知・制度説明	令和6年3月26日（火） 上野会館	6

(2) 相談受付及び利用支援

- ・相談受付 69件
- ・利用支援 454回 (面談・関係機関との連携調整・ケース会議・申立て支援等)

(3) 成年後見制度利用促進業務

- ・支援調整委員会の開催

実施日 毎月第1木曜日 年間11回実施

(※R6.2月は案件なしのため実施していない)

場 所 紀の川市役所本庁

検討案件数	24件	
支援方針結果 (内訳)	成年後見制度	11 件
	福祉サービス利用援助事業	12 件
	検討継続	1 件

- ・成年後見制度市長申立て 2 件

(4) その他制度利用促進に関する業務

①地域連携委員会の開催

	期日・場所	内容
第1回	令和5年10月20日(金) 桃山保健福祉センター	令和5年度(半期)中核機関取組状況について

②研修会等の参加

研修会名	期日/場所	参加人数
和歌山県成年後見制度利用促進協議会設置に係る説明会	令和5年4月18日(火) 桃山保健福祉センター (zoom)	3
令和5年度第1回和歌山県成年後見制度利用促進協議会	令和5年7月25日(火) 和歌山ビッグ愛	3
令和5年度成年後見制度利用促進に向けた体制整備研修会及び市町村長申立研修会	令和5年8月4日(金) 桃山保健福祉センター (zoom)	4
成年後見制度利用促進体制整備研修(基礎研修)	令和5年9月14日(木)・15日(金)・19日(火)・10月12日(木)・13日(金)・16日(月) 桃山保健福祉センター (zoom)	2
持続可能な権利擁護支援モデル事業のあゆみとポイント	令和5年10月27日(金) 桃山保健福祉センター (zoom)	2
令和5年度第2回和歌山県成年後見制度利用促進協議会	令和5年11月30日(木) 桃山保健福祉センター (zoom)	2

持続可能な権利擁護支援モデル支援研修	令和5年12月6日(水)・12月8日(金)・令和6年1月17日(水)・1月18日(木) 桃山保健福祉センター (zoom)	2
令和5年度成年後見制度利用促進体制整備研修	令和5年12月15日(金) 桃山保健福祉センター (zoom)	1
成年後見制度利用促進体制整備研修(応用研修)	令和6年1月19日(金)・22日(月)・23日(火) 桃山保健福祉センター (zoom)	2
家事関係機関との連絡協議会	令和6年1月22日(月)	2
成年後見制度利用促進にかかる意見交換会(中核機関立ち上げ済グループ)	令和6年2月6日(火) 和歌山県民文化会館	2
令和5年度意思決定支援研修	令和6年3月18日(月) 和歌山県民文化会館	2

③その他利用促進に関する業務

内容	期日/場所	参加人数
成年後見制度利用促進に向けての体制強化について勉強会 (紀の川市役所福祉部高齢介護課・障害福祉課と協議)	令和5年8月8日(火) 紀の川市役所本庁	8

3. 福祉サービス利用援助事業(県社協受託)

(1) 事業実績

・専門員数：4名 生活支援員数：18名

①福祉サービス利用援助事業

項目	本年度	前年度
相談受付件数	15	7
未契約者への相談件数	12	57
生活支援員の訪問回数	824	685
専門員活動としての訪問等回数	1,912	2,178
解約件数	2	4
新規契約件数	14	8
年度末契約実数	51	39

②日常金銭管理等事業

項目	本年度	前年度
相談受付件数	0	2
未契約者への相談件数	0	25
生活支援員の訪問回数	14	17
専門員活動としての訪問等回数	92	86
解約件数	0	0
新規契約件数	0	1
年度末契約実数	1	1

③法人後見事業

・受任件数：1件（後見：1件）

（2）研修会等の参加

研修会名	期日/場所	参加人数
令和5年度福祉サービス利用援助事業 新任生活支援員研修会	令和5年6月14日(水) 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	2
後見等事務説明会	令和5年8月22日(火) 和歌山家庭裁判所	3
令和5年度 福祉人材キャリア形成支 援研修 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 課程【初任者研修】	令和5年9月12日(火) 白崎青少年の家	1
令和5年度第1回福祉サービス利用援 助事業専門員研修会	令和5年9月26日(火) 県民交流プラザ和歌山ビック愛	2
令和5年度日常生活自立支援事業専門 員実践力強化研修会 初任者研修	令和5年11月28日(火) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	1
令和5年度福祉サービス利用援助事業 生活支援員継続研修会	令和6年1月30日(火) 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	2
令和5年度日常生活自立支援事業専門 員実践力強化研修会 現任者研修	令和6年2月8日(木)～9日(金) 全国社会福祉協議会 灘尾ホール	1
令和5年度第2回福祉サービス利用援 助事業専門員研修会	令和6年2月22日(木) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	4

4. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託）

安心した生活を送ることができるよう、低所得者世帯、障がい者世帯、又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、経済的自立・社会参加の促進を図った。

《相談・貸付件数》※特例貸付除く ※重複あり

	本年度	前年度	比較
相談件数	72	39	33
貸付決定	1	3	△ 2

新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付については、令和4年9月30日で受付を終了したが、償還時において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯・生活保護受給者・精神保健福祉手帳（1級）または身体障害者手帳（1級または2級）の交付を受けている人の償還を免除することができるとして、借受人からの申請に基づき、資金の種類ごとに一括免除を行うとともに生活状況により償還が困難な借受人の相談を受け、申請に基づき、償還猶予や減額を行っている。

また、特例貸付の借受世帯に対しアンケートを実施し、状況把握を行った。

生活福祉資金貸付調査委員会の開催

第1回 令和5年4月27日（木）

第2回 令和5年8月24日（木）

第3回 令和6年3月28日（木）

紀の川市生活支援体制整備事業（市受託）

紀の川市における高齢者の生活支援・介護予防等の体制整備に向けた取り組みを推進していくことを目的に、生活支援コーディネーターを設置し住民主体の助け合い活動や多様な生活支援サービスを進めた。

（１）地域調査

①地区懇談会等への出席

（２）個別支援の相談・対応

①民生委員や区長、ボランティア等により、近隣で生活が心配な方や閉じこもりになり心配な方、認知症の疑いがある方等の相談を受け、訪問を行った。

訪問件数：５件

（３）見守り体制の構築

①NPO法人フレイルサポート紀の川との連携

令和４年度に締結した「高齢者見守り活動に関する協定」に基づいて、希望する一人暮らし高齢者に対して、電話での見守り活動を実施した。

開催回数：２３回 利用者：１４名 延べ１６６件

②フレイルサポート紀の川と「食と交流のひととき食事会」の開催

普段は見守り電話訪問で協働しているが、電話での話しでは顔が見えないので、実際に会って一緒に食事をして交流するイベントを開催した。

期日：令和５年１０月１９日（木）桃山保健福祉センター

参加：フレイルサポーター１３名、高齢者９名

内容：フレイルサポーターによるフレイル飯の会食、フレイルチェック、紀の川市から理学療法士の話

（４）新たな社会資源とのネットワークづくり

①飲食業者のグループや社会福祉法人、大手企業など社会貢献を行ってくれる資源と地域のサロンや介護予防施設とマッチングを行った。

マッチング件数：１９カ所

（５）協議体の開催：７回開催

生活支援サポート事業（新規）

一人暮らし等の高齢者に対し、制度だけでは対応することができない制度の狭間の部分で、高齢者の生活におけるちょっとしたサポートが必要になってきていることに対し、地域のボランティア（住民同士）がちょっとした生活のサポートをすることによって、地域の方とのつながりができ、孤独感の解消にもなり困っている人を支え合う「生活支援サポート事業」（通称：おてつながり事業）を創設した。

（１）令和５年度は初年度として、事業の周知とサポートボランティアの養成講座の開催を行った。

期日：令和５年１０月１３日（金）

（２）令和５年度実績

利用会員数：３名

サポートボランティア登録数：１３名

訪問日数：延べ２６日

訪問時間：延べ３６時間

基本目標 2 孤立しないためのネットワーク構築

誰もが地域の中で孤立することなく安心して生活することができるよう、地域の絆の再構築を目指し、交流会や食事サービス、ふれあい・いきいきサロンなどを行った。

小地域ネットワークの充実

1. 食事サービス事業

月 2 回実施 延べ配食数 10,946 食

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
本年度	2,704	2,455	1,965	791	3,031	10,946
前年度 (内代替事業)	1,146 (636)	1,209 (593)	952 (474)	296 (139)	1,437 (701)	5,040 (2,543)

食事サービス包装紙の作成

保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校に協力いただき、包装紙を作成した。

2. 電話訪問（粉河支所）

毎月 1 回、ボランティアによる「一人暮らし高齢者宅」への電話訪問を実施した。
また、聴覚に障がいのある方には F A X で安否の確認を行った。

電話訪問時に体調不良や相談ごとがあった方には、民生委員や関係機関等と連携し対応した。

訪問件数：401 件（延参加ボランティア数 24 名）

3. 見守りネットワーク推進事業

75 歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、地域住民の「ゆうあい活動」として誕生日ハガキを送るなどの見守り活動を実施した。

送付数：1,628 枚

4. 家族介護者交流事業（市受託）

（1）介護者サロン

在宅介護者の交流の場を確保し、日常の悩みや体験を語り合い交流を深め、日頃の労苦を癒す場を設けた。

・いちごカフェ開設

開設日 毎月第 2 水曜日 午前 10 時～午後 3 時

場 所 貴志川保健福祉センター

利用者 延べ 18 名

・とんまか喫茶開設

開設日 毎月第 3 水曜日 午前 10 時～午後 12 時

場 所 社協粉河支所

利用者 延べ 6 名

(2) つどいカフェ

介護者や当事者、またこれからの介護に不安を感じている方の新たな交流の場として、市内の協力喫茶店、福祉関係者との協働で毎月1回交流の場として開設した。

開設日 11月より基本毎月第3水曜日 午後1時30分～午後3時

場所 ドッグカフェMomo&Taro

利用者 延べ6名

- ・オレンジコンサート

開設後、1年が経ち認知症当事者が得意とする芸能披露を発表する場、介護に悩んでいる方々の場として開催した。

開催日 令和5年9月27日(水)

参加者 14名

見守り体制の充実

○高齢者見守り事業(市受託)

一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に対し、見守り、安否確認等を実施することにより、高齢者の孤独感の解消及び安心感の提供を図った。

(1) 見守りボランティアの養成・研修会の開催

- ・研修会の開催：令和5年9月29日(金)参加者24名

- ・見守りボランティア登録者数 40名

項目	本年度	前年度	比較
年間利用者数	62	61	1
新規利用者数	7	19	△12
延訪問回数	3,098	2,868	230

ふれあい・いきいきサロンの充実

高齢者社会参加の促進、閉じこもり予防、地域交流の場として地域のボランティアの企画運営により小地域の単位(自治区単位)で開催した。

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
設置数	17	17	14	12	9	69
開催回数	195	166	50	96	93	600
延参加人数	2,329	1,739	867	1,551	1,268	7,754

※令和5年度は、集まるサロン活動が増え、地域との交流が広がり、粉河2ヶ所で新規サロンが設置された。

◎「ふれあい・いきいきサロン」代表者会議

期日 令和6年3月1日(金)

場所 桃山保健福祉センター2階

参加 72名 51サロン

内容 助成金、サロン保険やサロンバス運行等について説明を行った。

出張講座の紹介として高齢介護課、国保年金課より元気プラス塾について説明、周知した。

日常にある新聞紙を使ったスリッパ作りや買い物ビニール袋での三角巾作りを通して防災への意識を高めた。

紀の川市つどい場事業（市受託）

在宅の高齢者が気軽に集えるような居場所を提供することで、「生きがづくり」「仲間づくり」の輪を広げ社会参加を促すことで、閉じこもりや寝たきり、認知症予防となり、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができることを目的に開催した。

名 称 【カフェほほえみの和】

開 催 毎月第1木曜日 午後1時30分～午後3時

場 所 社会福祉協議会粉河支所 1階

参 加 延べ464名

開催日	参加人数	内 容
令和5年4月6日	40名	笑いヨガ
令和5年5月11日	39名	紙芝居／お話／ラップ演奏
令和5年6月1日	47名	楽しくおしゃれ稲荷づくり
令和5年7月6日	34名	モルック／ラダーボール
令和5年8月3日	41名	あっぱれ高校生部との交流
令和5年9月7日	34名	空き巣・強盗・サギの対応
令和5年10月5日	40名	資生堂 いきいき健康美容教室
令和5年11月2日	35名	歯科衛生士による口腔ケア指導
令和5年12月7日	48名	クリスマス会
令和6年1月4日	45名	新春こども落語会
令和6年2月1日	30名	ヤクルト健康教室
令和6年3月7日	31名	ちんどんショー

名 称 【竜門ですよ】

開 催 毎月第3木曜日 午後1時30分～午後3時

場 所 竜門児童館

参 加 延べ247名

開催日	参加人数	内 容
令和5年4月20日	19名	楽しみたい終活／楽しい遊びと体操
令和5年5月18日	17名	上手な服薬のヒ・ケ・ツ
令和5年6月15日	18名	紙芝居／マジックショー／人形劇
令和5年7月20日	17名	モルック大会
令和5年8月17日	16名	特殊詐欺被害防止
令和5年9月21日	19名	フレイル予防
令和5年10月19日	22名	資生堂 いきいき健康美容教室
令和5年11月16日	23名	紙芝居
令和5年12月21日	21名	クリスマス会
令和6年1月18日	22名	新春落語会（DVD上映）
令和6年2月15日	31名	健康体操
令和6年3月21日	22名	空き家の窓口説明会／いなり寿司づくり

基本目標 3 災害に備えた取り組みの推進

台風2号災害発災後、紀の川市災害ボランティアセンターを設置し、防災ボランティア・協定団体の協力を頂いた。

自分の身は自分で守る「自助」自主防災組織など地域で助け合う「共助」の知識を学習し、災害時に備える事を目的に開催した。

(1) 台風2号災害「紀の川市災害ボランティアセンター」の設置

期日 令和5年6月4日(日)～6月14日(水)

場所 紀の川市内

対応件数 72件

参加 148名(延人数)

内容 ①災害ボランティアセンターの運営

②家財道具運搬・土嚢運び等

(2) 広域・同時多発災害対応訓練(県災害VC事業) 【集合した後、津波の為中止】

期日 令和5年12月3日(日)

場所 太地町

参加 8名

内容 災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション

(3) 防災福祉講演会

期日 令和6年3月16日(土)

場所 粉河ふるさとセンター

参加 93名

内容 ①令和6年能登半島地震活動報告

②桂 枝曾丸と学ぶ、もしものそなえ

③AEDの使い方(那賀消防組合)

④栄養士グループ NAGA 三國和美氏による避難時クッキング

(4) 能登半島地震 職員派遣

①被災地支援

期間：令和6年2月13日(火)～2月19日(月)

派遣者：那賀支所長 土橋 直樹

派遣先：羽咋市災害ボランティアセンター

内容：ボランティアセンターの運営 現地調査他

②募金の呼びかけ

市内より32件の個人・団体より1,236,070円の寄付を頂き、全額和歌山県共同募金会へ送金

基本目標 4 地域福祉活動の推進

地域活動を推進していくために、ボランティアの確保・育成に努めるとともに、子ども頃から福祉に関心を持ってもらえるよう、児童等を対象とした福祉教育を実施しました。さらに、社会福祉協議会機能の強化を図った。

ボランティアセンターの機能強化

○ボランティアの登録

	今年度	前年度
団体	63グループ 1,132名	64グループ 1,125名
個人登録者	59名	59名

児童・生徒への福祉教育の推進

(1) 2023「サマーボランティアスクール」

夏休みの期間をボランティア活動推進の好機ととらえ、児童・生徒等が福祉について学びボランティア活動へ参加するきっかけづくりを目的に開催した。

実施日： 令和5年8月7日（月）、8日（火）、18日（金）

場 所： 社会福祉法人 桃郷 ひまわり園

社会福祉法人 檸檬会 レイモンドハウスⅠ、さかい珈琲

社会福祉法人 高陽会 風の里デイサービス、

さくらの丘通所リハビリテーション

桃山保健福祉センター（振り返り会）

参 加： 中学生5名・高校生7名 計12名

内 容： 市内の社会福祉法人と協働し開催した。今年は各施設側から施設紹介や仕事のやりがいなど職員の方からの話。ボランティア体験としてデイサービスでのお手伝いや保育体験などをおこなった。

また、振り返り会として、別日に参加者が集まり、体験や学習したこととの共有発表をし、リフレクションを行った。

(2) 福祉教育への支援

高齢者や障がい者に対する理解を深め、助け合い支え合いの大切さをわかてもらえるように、車椅子体験や障害者スポーツ体験、福祉についての授業を行った。

学校名	期日	学年	人数	内容
貴志川中学校	令和5年11月9日（木）	1年	154	あいサポート養成講座 障がい者スポーツ交流（市障害者連盟）
丸栖小学校	令和5年10月16日（月）	4年	22	車イス・ガイドヘルプ体験
	令和5年10月25日（水）	4年	22	ゲストティーチャーから学ぶ 講師：市身体障害者連盟川嶋会長
	令和5年12月7日（木）	4年	22	ゲストティーチャーから学ぶ 講師：市身体障害者連盟視覚部会北山部長
安楽川小学校	令和5年11月20日（月）	4年	44	ゲストティーチャーから学ぶ 講師：市身体障害者連盟川嶋会長
	令和5年11月27日（月）	4年	44	福祉の話・車イス・障がい者スポーツ
	令和5年12月18日（月）	5年	41	しめ縄リース作り体験 （老人クラブ桃山支部・ボランティア）

池田小学校	令和5年11月6日(月)	4年	67	車イス・ガイドヘルプ体験
	令和5年11月24日(金)	4年	67	ゲストティーチャーから学ぶ 講師：市身体障害者連盟川嶋会長
	令和5年12月12日(火)	4年	67	視覚障害について
	令和6年1月25日(木)	4年	67	ゲストティーチャーから学ぶ 講師：高陽会 紺谷ケアマネージャー
竜門小学校	令和6年2月15日(木)	4年	14	福祉の話・車イス・障害者スポーツ
調月小学校	令和6年2月19日(月)	4年	8	福祉の話・車イス・障害者スポーツ
粉河小学校	令和6年2月27日(火)	4年	36	福祉の話・車イス・障害者スポーツ

その他取り組み

◇共同募金運動への協力

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から翌年3月31日の間、市内全域で募金運動を実施した。(単位：円)

戸別募金	学校募金	職域募金	他の募金	合計
3,707,292	123,708	260,504	112,778	4,204,282

和歌山県共同募金会から、2,103,000円の配分を受け本会の地域福祉事業(広報紙発行事業・福祉委員活動)等で活用した。

◇リサイクル掲示板事業

資源の有効活用と消費生活の合理化を図ることを目的に実施した。

	譲ります	譲ってください	譲渡成立
件数	30	26	26

◇福祉団体活動支援

社会福祉協議会に事務局を置く福祉団体活動の支援を行なった。

老人クラブ連合会	ボランティア連絡協議会	障害児者父母の会
遺族会	福祉防災ボランティア会	赤十字奉仕団
母子寡婦福祉連合会	身体障害者連盟	

◇紀の川市戦没者追悼式(市受託事業)

先の大戦において亡くなられた方々を追悼するために実施した。
(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小した)

期 日 令和5年10月6日(金)

場 所 貴志川生涯学習センター かがやきホール

参列者 171名(内、遺族145名)

◇独居高齢者防火診断

火災予防週間に那賀消防組合に協力し、一人暮らし高齢者宅2軒の訪問を行った。

◇マイクロバスの運行

	本年度	前年度
運行回数	48	13

Ⅲ 在宅福祉サービス部門

(1) 介護保険事業・介護予防事業

① 居宅介護支援事業

居宅において日常生活を営むために必要な保健・医療、福祉サービスなどを適切に利用できるよう、要介護者や家族の依頼を受けて、その心身の状況や置かれている環境、要介護者や家族の希望を勘案して、居宅サービス計画を作成するとともに、その居宅サービス計画に基づき指定居宅サービス事業者等と連絡調整を行った。

給付管理 件数	要 介 護						介護予防
	1	2	3	4	5	合計	
本年度	362	478	368	173	75	1,456	107
前年度	293	472	346	140	67	1,318	115
比較	69	6	22	33	8	138	△ 8

② 要介護認定訪問調査

自宅等を訪問し、心身の状態や日常の生活、家族・居住環境などについて聞き取り調査を行った。

	本年度	前年度	比較
調査件数	24	6	18

③ 訪問介護事業

介護が必要な方に対し、居宅でその方の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護など生活全般にわたる援助を行った。

延利用 者数	要 介 護						介 護 予 防			
	1	2	3	4	5	合計	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
本年度	346	269	145	71	85	916	270	293	18	581
前年度	393	244	139	116	65	957	299	263	30	592
比較	△ 47	25	6	△ 45	20	△ 41	△ 29	30	△ 12	△ 11

延訪問 回数	介護給付サービス				予防給付サービス
	生活援助	身体介護	身体・生活	合計	
本年度	4,668	6,675	5,468	16,811	1,471
前年度	5,146	6,413	5,244	16,803	1,407
比較	△ 478	262	224	8	64

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）

基本チェックリストの基準に該当した方を対象に、利用者の自立に向けた生活支援を行った。

	本年度	前年度	比較
延利用者数	364	357	7
訪問回数	1,471	1,500	△ 29

(3) 紀の川市ほほえみサービス事業

介護保険制度上、提供することができない援助を、本会利用者に限り自費サービスとして行った。

	本年度	前年度	比較
延利用者数	40	40	0
訪問回数	68	80	△ 12

(4) 障害福祉サービス事業

①居宅介護等事業

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう利用者の身体その他の状況及び環境に応じて、家事や相談など生活全般にかかわる援助や外出時における移動中の介護を行った。

延利用者数 185 名

訪問回数	家事援助	身体介護	通院介助	同行援護	合計
本年度	1,063	443	11	12	1,529
前年度	1,027	367	11	35	1,440
比較	36	76	0	△ 23	89

②紀の川市障害者地域生活支援事業（移動支援事業）

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう利用者の外出時における移動中の介護を行った。

延利用者数 39 名

訪問回数	移動介護	
	身体介護あり	身体介護なし
本年度	192	41
前年度	329	194
比較	△ 137	△ 153